

**令和4年度  
全国学力・学習状況調査  
学校の調査結果**



**令和4年12月  
海老名市立海西中学校**

令和4年度

# 全国学力・学習状況調査について

## 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

## 調査内容

- (1)教科に関する調査(国語, 算数・数学及び理科)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

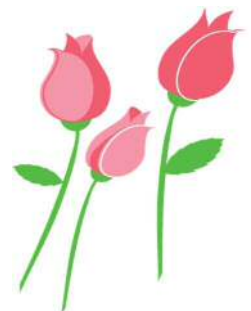
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## 調査実施日

令和4年4月19日(火)

※児童生徒質問紙調査について、一部の学校で、端末を活用したオンラインによる回答方式で実施



# 中学校 国語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫できるかどうかをみる。
- ・論理の展開などに注意して聞くことができるかどうかをみる。
- ・自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことができるかどうかをみる。
- ・助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使うことができるかどうかをみる。
- ・文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。
- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。
- ・表現の技法について理解できているかどうかをみる。
- ・事象や行為、心情を表す語句について理解できているかどうかをみる。
- ・場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができるかどうかをみる。
- ・行書の特徴を理解することができるかどうかをみる。
- ・漢字の行書の読みやすい書き方について理解できているかどうかをみる。
- ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解できているかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 「知識及び技能」の「我が国の言語文化に関する事項」に優れています。  
行書の特徴をよく理解しています。

- 「思考・判断・表現」の「話すこと・聞くこと」における、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す能力に優れています。  
スピーチの場面においてどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図について理解し、書くことができています。

- 「思考・判断・表現」の「読むこと」における、話の展開や登場人物の心情や行動を捉える能力に優れています。  
場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に正しく捉えています。また、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができます。

### ◆課題のある点

- 「思考・判断・表現」の「書くこと」における、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに努力を要します。  
資料の一部から必要な情報を引用し、根拠を明確にして、自分の考えが伝わる文章を書くことに課題があります。特に、文章の引用の仕方を確認する必要があります。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことや資料の必要な部分の引用の仕方、出典の示し方について丁寧に指導します。（資料から必要な部分を引用して書いた文章を他者と互いに読み合う学習活動や意見文を書く学習活動に先立って行います。）

# 中学校 数学

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・自然数を素数の積で表すことができるかどうかをみる。
- ・簡単な連立二元一次方程式を解くことができるかどうかをみる。
- ・反例の意味を理解しているかどうかをみる。
- ・一次関数の変化の割合の意味を理解しているかどうかをみる。
- ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解しているかどうかをみる。
- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる。
- ・式を変形したり、意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる。
- ・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる。
- ・データの傾向を的確に捉え、理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。
- ・箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる。
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。
- ・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解しているかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

○素因数分解（自然数を素数の積で表すこと）及び、簡単な連立二元一次方程式を解くことがよくできています。

○証明の根拠として用いられる三角形の合同条件をきちんと理解し、実際の証明問題の中で使用することができています。

### ◆課題のある点

○ヒストグラムからデータの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がみられます。

○グラフから事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がみられます。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

○数学科では習熟度別少人数授業を行っていますが、そのあり方を更に研究し、より効果的な授業ができるよう努めてまいります。

○数学的な知識や技能を習得させることだけでなく、事象を数学的に捉え解釈する力、数学的な表現を用いて説明する力、問題解決の方法を数学的に説明する力などが養われるよう指導することを心がけてまいります。

# 中学校 理科

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる。
- ・静電気や気圧、岩石、状態変化に関する知識及び技能を身に付けているかどうかをみる。
- ・天気の変化を分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる。
- ・化学変化に関わる水の質量が変化しないことを、分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・水素を燃料として使うしくみとして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・複数の脊椎動物のあしの骨格について比較し、共通点と相違点を分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる。
- ・課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いているかどうかをみる。
- ・大地の変動について他者の考察を、検討して改善できるかどうかをみる。
- ・時間的・空間的な見方を働かせながら、地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うことができるかどうかをみる。
- ・未知の節足動物とアリを比較して、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

#### ○「粒子」を柱とする領域の能力に優れています。

水を電気分解して発生させた水素を燃料として使う仕組みを探究する学習場面において、粒子の保存性の視点から化学変化に関わる水の質量が変化しないことを、分析して解釈することができています。

#### ○「生命」を柱とする領域の能力に優れています。

予想や仮説と異なる実験の結果が出る場合、その意味することや考えられる可能性について考え、実験の操作や条件制御の不備の可能性を指摘することができています。

### ◆課題のある点

#### ○「エネルギー」を柱とする領域の能力に努力を要します。

課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する能力に課題が残ります。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 「エネルギー」を柱とする領域の項目については、力や電気について値を求める知識を増やす取り組みが必要だと考えます。これまで取り組んできた、教科書で扱われている演習に加え、身近な現象や機械を用いた課題を設定し、正しい使い方ができるようになることを目指します。
- 教科書以外の様々な題材も扱い、より多くの自然事象に触れて探究力をつけるとともに、自分なりの考えをまとめる力や、相手に伝える力を身につけることを目指します。

# 生徒質問紙

## 学習について

### ◆本校のよかったところ

#### ○対話を通して、考えを深めたり、広げたりすることができています。

「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」という質問では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合が91.7%で、全国と比べて+13.0ポイントと大幅に上回っています。

「人間関係作り」を基盤として行ってきたさまざまな教育活動を通して、生徒自身が対話の大切さに気がつくことができていたのだと考えられます。

### ◆本校の課題と思われるところ

#### ○計画的に学習する力を身につけられるようにします。

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)」の質問では、「よくしている」「ときどきしている」と答えた生徒の割合は43.6%で、全国と比べて14.9ポイント下回っています。

課題に取り組むときは、まず、現在の自分の状況を把握し、どれくらいの時間をかけて、どれくらいの量に取り組むかなど具体的に考え、課題に取り組む中で、それを修正していく力が求められます。これは社会に出てからも必要な力となるので伸ばしていけるようにしましょう。

## 生活について

### ◆本校のよかったところ

#### ○自分のよさを意識して学校生活を送ることができています。

「自分には、よいところがあると思いますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合は89.7%で、全国と比べて+11.2ポイントと大幅に上回っています。

これは、これまでの学校での教育活動の積み重ねと、ご家庭でのご家族の関わりの中で生徒一人ひとりが自分自身のよさを実感することができているのだと考えます。

### ◆本校の課題と思われるところ

#### ○規則正しい生活を意識しましょう。

「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」の質問では、「している」「どちらかといえば、している」と答えた生徒の割合が全国と比べて4.9ポイント下回り、「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」の質問では、全国と比べて4.1ポイント下回っています。

規則正しい生活を意識し、生活リズムを整えることで落ち着いた学校生活を送ることができるようになります。まずは、就寝、起床から意識して取り組んでいきましょう。

## 今後の具体的な取組について

○学校教育目標「未来を拓く、心豊かなたくましい海西の子の育成」を目指し、地域や家庭との連携をさらに深め、「人間関係作り」を基盤とした教育活動にこれからも取り組んでまいります。

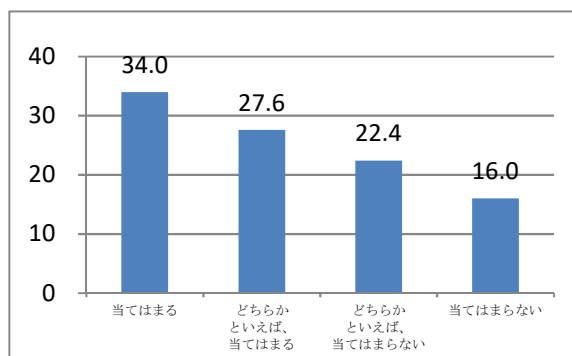
○1人1台端末やICT機器を有効に活用する方法を研究し、個に応じた学習と、協同的な学習についての取り組みを進められるよう努めてまいります。

# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

## 1 将来について話し合ってみましょう。

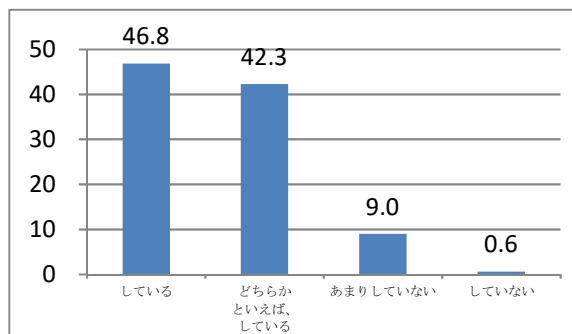
「当てはまる」と回答した人は34.0%で全国（39.8%）と比べて5.8ポイント低くなっています。夢や目標を持つことが毎日の生活の活力につながります。将来について具体的に話し合ってみましょう。



将来の夢や目標を持っていますか

## 2 規則正しい生活を心がけましょう。

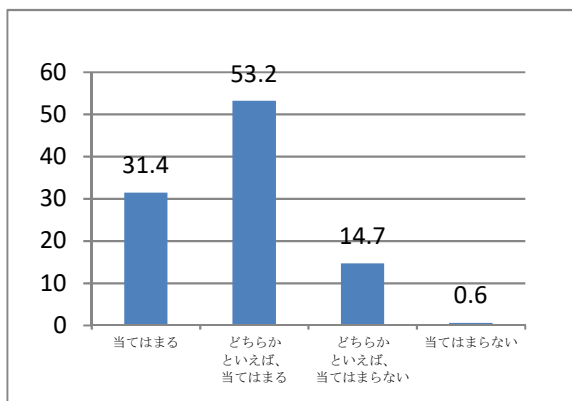
「している」と回答した人は46.8%で全国（56.8%）と比べて10.0ポイント低くなっています。「早寝早起き、朝ごはん」を意識した生活を心がけ、一日のスタートを気持ちよく迎えましょう。



毎日、同じくらいの時間に起きていますか

## 3 周りに貢献できるように心がけましょう。

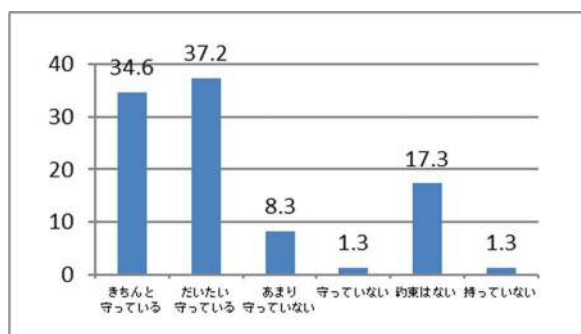
「当てはまる」と回答した人は31.4%で全国（40.6%）と比べて9.2ポイント低くなっています。「海西中の心」の一つである「思いやり」を意識した生活を心がけましょう。



人が困っているときは、進んで助けていますか

## 4 ルールやマナーについて話し合ってみましょう。

全国と比較して、大きな差は見られませんが、携帯電話やスマートフォン、コンピュータの使い方のルールやマナーについてももう一度話し合ってみましょう。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

## 結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係